

エボラウィルスは 正しく怖がる

point ① エボラ出血熱は空気感染しない！

point ② 感染経路は、体液や血液による直接接触！

生物兵器の可能性

アメリカの疾病管理センター (CDC) はエボラウィルスを生物兵器になり得るウィルスに指定。

私たちには知らされていない

政府はエボラウィルス研究を行っている国立感染症研究所を、現在の郊外(東京都村山市)から人口が密集する東京都心に移転する計画で、移転先の情報開示なく進行している。調査によれば、この移転は明確な公衆の安全対策も、新たな施設の所在地の透明な開示も、十分な緊急時対応プロトコルもないままに進められている。

人爲的パンデミックの可能性

事故やテロでエボラウィルスが研究施設から漏出する可能性がある。

陰謀論かどうかの議論は意味がない
これは現実に起こり得る未来である。

恐怖の刷り込み

致死率最大90%
日本では「エボラ出血熱」として、恐怖が刷り込まれている。

説得力のある根拠の欠落

日本国内で、エボラ研究を行う理由について、医学的、科学的、公衆衛生に、説得力のある根拠が示されていない。

“恐怖”は最大のビジネス

既に恐怖を植え付けられた国民が大パニックとなり、政府が「緊急事態宣言」を発令。国による情報規制と国際介入政府は「国民の命を守る」として1兆円規模でワクチンや抗体薬を調達、【恐怖】が最大のビジネスプロモーション装置になる。

“新しいパンデミック”の備えと解決策とは？ 私たちに必要な情報とは？

世界中の
医師・科学者
たちが考えた
解決策は裏面へ

ISOM

Guardians
For Health & Freedom

Society for Orthomolecular Medicine
JSOM

『東京のエボラ研究移転が世界的な懸念を引き起こす』
“生物危機”への備えとしてのオーソモレキュラー戦略とは？

参考動画はこちら

